

日本ゼオン各事業所

川崎工場

川崎工場について

【設立】

1959 年

【主な機能】

合成ゴム、合成ラテックスの生産



川崎工場全景

事業所の方針(工場長より)

当工場は、地域の一員としての役割を果たしていきます。恒例となっている当地区の幹線道路である「殿町夜光線」の定期一斉清掃への参加を継続します。また、従業員手作りの催し物を企画して近隣の企業、町内会の方々をお招きし、当工場ならではのおもてなしで楽しんでいただければと思います。

これからも、安心していただける工場となるべく、地域社会との共生をめざしていきます。



川崎工場長 川中 孝文

安全への取り組み

【方針】

安全確保を最優先に、全就業者の参加のもとで事故・災害の撲滅を目指しています。

【具体的な取り組み】

- ・事故事例教育や安全体感教育等の安全教育
- ・ヒヤリハット等の各種安全活動

環境負荷削減の取り組み

【方針】

有害化学物質排出および廃棄物の削減と省エネルギーを推進し、コンビナート企業間の連携により資源の有効活用に努めます。

【具体的な取り組み】

1. 温暖化防止

2014 年度に設置したコージェネレーションシステム 5 号機、6 号機に、高水準の熱効率と低 NOx を実現する最新鋭ガスエンジン方式を採用したことで、省資源・省エネルギーが実現できました。発生した余剰電力は、安定的に外部に供給しています。また、蒸気と廃熱を有効に活用するプロセスの開発を進め、継続的に環境負荷削減を進めています。

2. 有害化学物質排出量削減

ブタジエンとアクリロニトリルの回収設備を導入し、排出量削減を進めています。また、製造設備開口部からのアクリロニトリルの蒸発を防止するための設備改善を行いました。

2015 年度のブタジエンおよびアクリロニトリルの大気排出量は、それぞれ 2.0 トン、4.9 トンとなりました。

3. 廃棄物削減

分別と再資源化(リサイクルと熱回収)による削減を進めています。あわせて、ゴミそのものを削減する活動を積極的に進めた結果、2015 年度も埋立処分量は 1 トン以下になっています。

4. 大気への負荷削減

アクリロニトリルの大気放出量削減に取り組み大幅に削減しました。2020 年には現状の 1/5 の排出量となるように技術開発の取り組みを開始しました。

5. 水質への負荷削減

廃水に流入する窒素化合物の低減を進めています。負荷の変動にも安定的に対処できるような技術改善に取り組んでいきます。

6. 環境関連データ

川崎工場		2011 年度	2012 年度	2013 年度	2014 年度	2015 年度
有害物質	ブタジエン使用量(トン)	23,054	22,841	20,372	23,534	21,758
	ブタジエン排出量(トン)	2.6	2.7	2.4	2.59	2.0
	アクリロニトリル使用量(トン)	10,670	10,872	9,653	11,405	10,746
	アクリロニトリル排出量(トン)	12	13	11	11.2	4.9
PRTR 法対象物質	使用量(トン)	46,186	44,709	40,203	45,847	43,954
	排出量(トン)	26	25.6	26.1	27.9	21.4
産業廃棄物	減容前発生量(トン)	47,718	50,878	48,039	52,900	44,380
	減容後発生量(トン)	5,383	5,037	4,024	4,401	3,412
	埋立処分量(トン)	0.4	0.9	0.0	0.0	0.0
大気排出	CO ₂ 排出量(トン)	27,609	27,968	20,917	25,778	23,443
	SO _x 排出量(トン)	0.1	0.1	0.2	0.1	0.3
	NO _x 排出量(トン)	8	8	7	5.7	5.6
	ばいじん排出量(トン)	0.6	1	1	0.6	0.5
	フロン類漏えい量(トン CO ₂)	—	—	—	—	0.0
水資源(工業用水+地下水+上水道)使用量(千 m ³)		2,963	3,313	3,092	3,657	3,241
排水	総排水量(千 m ³)	1,793	1,904	2,031	2,185	2,265
	COD 排出量(トン)	40	42	45	44	35
	全リン排出量(トン)	0.2	0.2	0.3	0.2	0.23
	全窒素排出量(トン)	89	115	93	114.5	89
エネルギー	使用量(原油換算、KL)	16,220	16,552	14,406	14,700	13,355
	原単位指数(90 年度を 100 とした比率)	90%	91%	75%	84%	65%
換算生産量(トン)		81,790	82,757	73,834	85,441	80,229

品質保証の取り組み

【方針】

「世界一の品質を持つ製品を作り、お客様に安定的に供給すること」を目指します。

【具体的な取り組み】

- ・製品品質の工程能力向上
- ・科学的根拠に基づく品質保証の推進
- ・ロスや作業負荷をはじめとするあらゆるムダの削減

社員とともに

【方針】

従業員個々の職務遂行に必要な能力の伸長を図り、従業員相互に協力する精神を培い、『自ら考え行動できる自立した人材の育成』を計画的かつ継続的に実施する。

【具体的な取り組み】

上記方針を踏まえ、教育訓練はその目的、内容、対象者を勘案し、ものづくり研修所教育(入社1年目から3年目の社員が対象)をはじめとした社内集合教育、職場教育訓練(OJT等)、職場外の外部派遣教育(Off・JT)、自己啓発援助などから、最も効果的な形態で実施しています。

地域との共生

【方針】

対話を基本とした地域との共生を重視し、ひらかれた工場を目指す

【具体的な取り組み】

・事業報告および工場見学会

工場周辺に住む方々との対話促進と、当社・当事業所への理解を深めていただく事を目的として、年に1回、開催しています。

・地域対話の実施

地域のみなさまに、環境改善や保安防災などのレスポンシブル・ケア活動についてご理解いただくために、日本ゼオンを含む日本化学工業協会 RC 委員会の川崎地区会員企業 9 社で実施しています。

